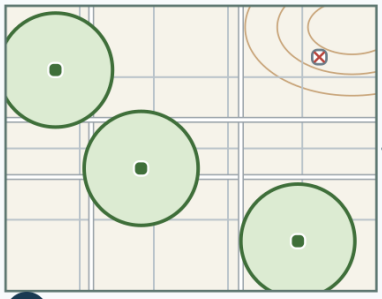
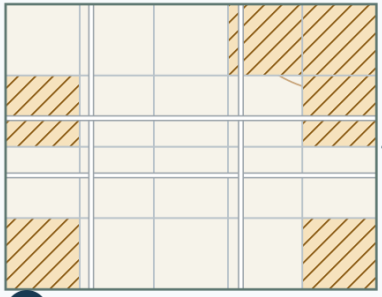
店から遠い地区を地図で見つける（買い物弱者と距離の範囲）

食料品の店まで歩いて行くのが難しい人は、地域のどこに多いかを、地図でどのように見つければよいか

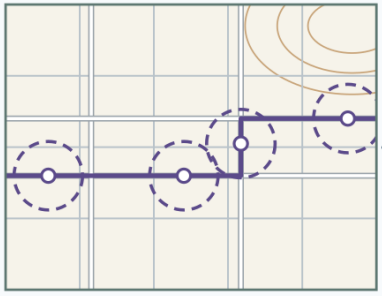
1 店と、店から500mの範囲



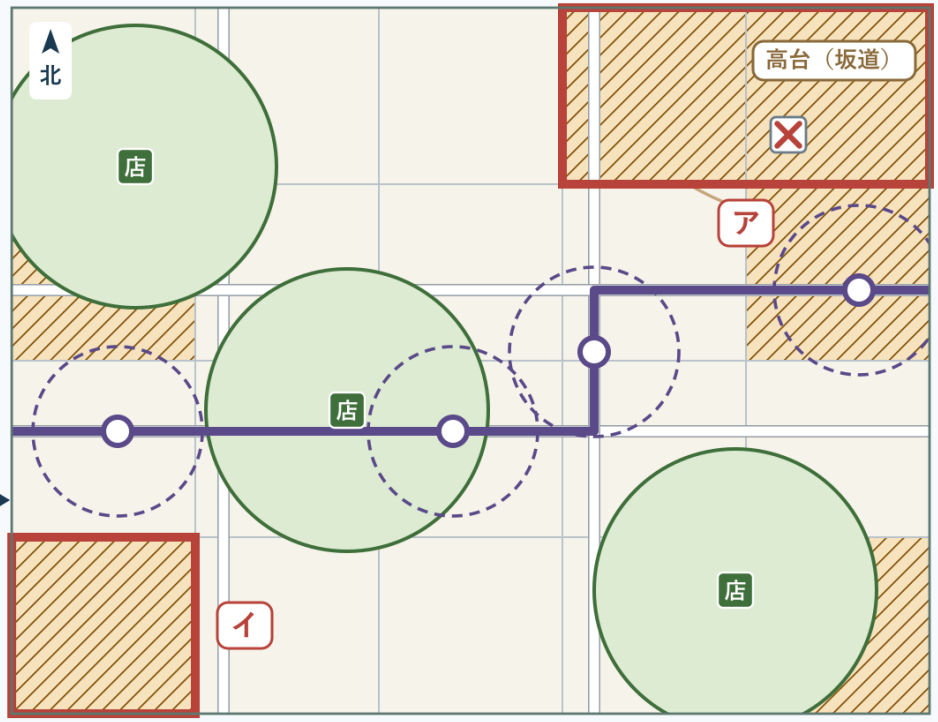
2 高齢者の割合が高い地区



3 バスの路線と停留所の範囲



3枚を重ねた地図（架空の市）



- 食料品の店
- 店から500mの範囲（直線距離）
- 閉じた店
- 高齢者の割合が高い地区（例）
- バスの路線と停留所
- 停留所から300mの範囲
- 3つが重なる地区
- 0〜500m（地図の縮尺）

500mは農林水産政策研究所の推計で使う、店までの直線距離の基準。300mは例。

地区アで買い物が難しくなった要因（例）

- **店の撤退**
  近くの店が閉じた（×）
- **バスの減便**
  路線から遠く、本数も少ない
- **坂道が多い**
  高台で、歩くのが負担
- **運転しない人の増加**
  高齢になり、車を手放す

→ **歩いて買い物に行くのが難しい**

取り組みの例

- **A 移動販売**
  品物を積んだ車が地区を回る
- **B 宅配**
  注文した品を家まで届ける
- **C 乗り合いの交通**
  予約に合わせて走る小さなバス

※ 架空の市の模式図。地区の区切り・高齢者の割合・店や停留所の位置は例。実際の分析は統計や GIS の地図で行う。